

# 図書館閲覧量調査について

IDS飯尾ゼミ 齋藤 上原 山西

# 問題意識・課題設定

新聞や雑誌の購読料は安くなく、購読を打ち切る図書館があったりする

居場所としての図書館などが提唱される中、その利用を定量的に把握する方法は少ない

貸出記録が残る貸出以外の利用、とくに新聞雑誌や、館内閲覧の利用をデータとして残る形にする

# データ収集結果 1

- 収集期間 2日間
- アンケート 98件,80件
- 目視での巡回調査
  - (一般図書、児童図書、新聞雑誌、レファレンス、自習室、視聴覚室)
- 目的：貸出記録に残らない利用を可視化する

# データ収集結果

## アンケート

# 2

NO.	入館時	退館時	回答番	滞在時間 (分)
1	10:00	16:40	4	400
2	10:25	10:45	3	20
3	10:10	10:45	3	35
4	10:10	10:45	3	35
5	10:20	10:50	3	30
6	10:30	10:45	1	15
7	10:30	10:45	1	15
8	10:00	10:30	3	30
9	10:00	10:30	1	30
10	10:10	10:29	4	19
11	10:00	10:28	1	28
12	10:20	10:27	4	07
13	10:10	11:30	2	80
14	10:00	10:06	4	06
15	10:30	11:15	2	45
16	10:10	11:20	1	70

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
アンケート内容									
Q	滞在時間中、図書館資料を読んでいた時間はどれくらいですか。								
A	1	ほぼずっと							
	2	3分の2くらい							
	3	半分くらい							
	4	全く読まなかった							

# 3

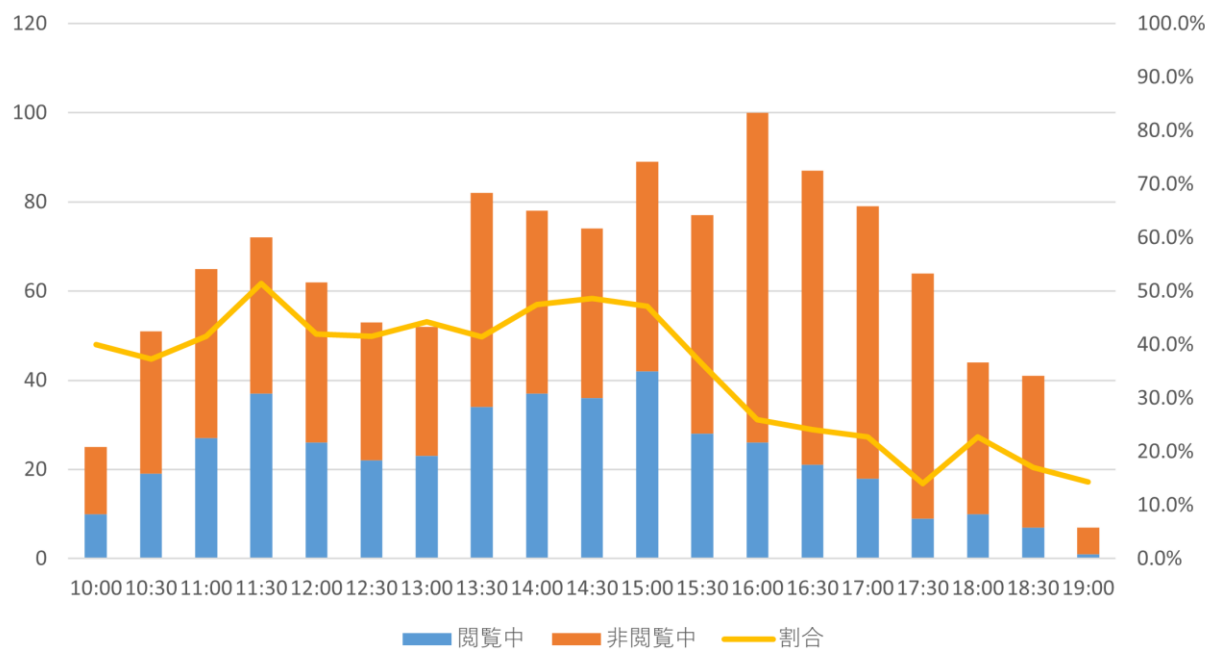
# データ収集結果 3

## 目視巡回調査

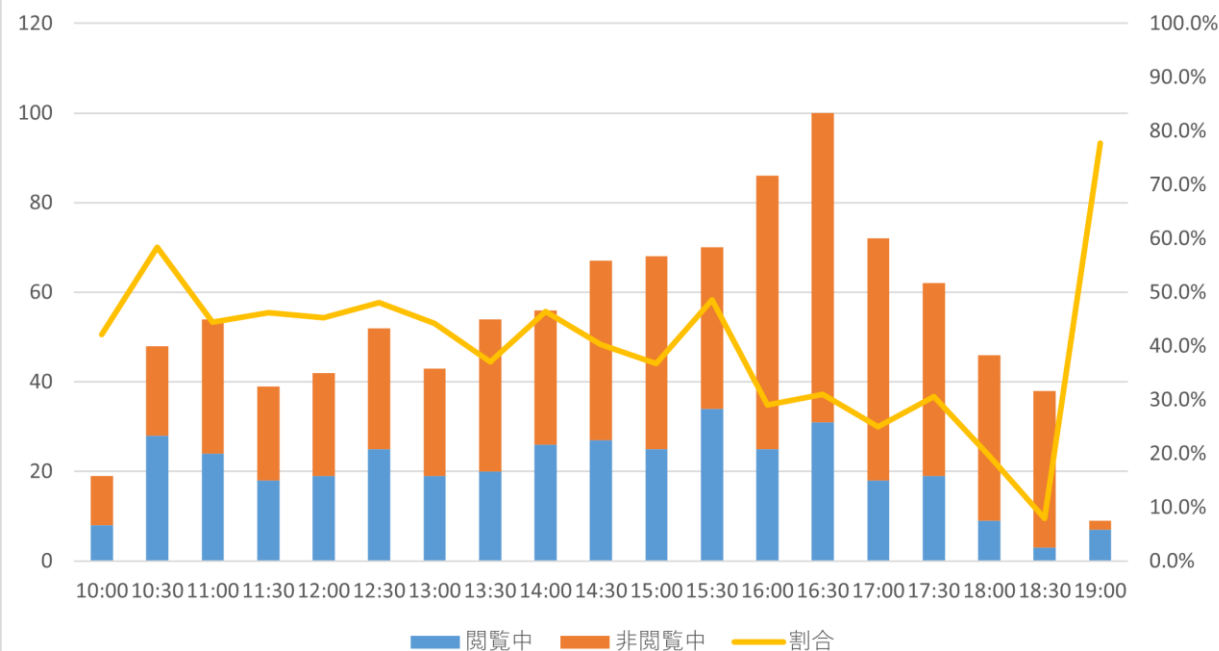
	利用者総数	探し中	閲覧中合計	本	新聞	雑誌	映像資料	その他合計	勉強・作業	スマホ・睡眠	雑談
10:00	10	7	1	1				2			2
10:30	22	11	10	10				1		1	
11:00	23	10	10	10				3			3
11:30	27	15	11	11				1		1	
12:00	17	5	10	10				2		2	
12:30	13	4	8	8				1		1	
13:00	23	12	10	10				1		1	
13:30	31	16	10	10				5		5	
14:00	23	5	14	14				4		4	
14:30	25	10	10	10				5		5	
15:00	26	11	12	12				3		3	
15:30	21	10	9	9				2		2	
16:00	22	8	9	9				5		5	
16:30	19	8	8	8				3		3	
17:00	10	3	5	5				2		2	
17:30	8	3	4	4				1		1	
18:00	5		5	5				0			
18:30	3		2	2				1		1	
19:00	3	2	1	1				0			

# 全体の閲覧率

23日の閲覧率



28日の閲覧率



23日は自習室でイベントが行われていたためデータが無い。28日の自習室のデータを仮の値として代入している

館内閲覧時間の算出方法

質問内容	回答項目／閲覧時間の算出方法
滞在時間中、図書館資料を利用していた時間はどのくらいですか？	ほぼずっと=滞在時間×0.9
	3分の2くらい=滞在時間×0.7
	半分くらい=滞在時間×0.5
	全く読まなかった=0

観察法と質問紙法による閲覧時間数の比

	延べ閲覧時間	
	八王子中央図書館	
	11月23日(休日)	11月28日(平日)
質問紙法によって得られた数値	36時間23分	28時間51分
質問紙法による推定値(Q)	179.64時間	134.75時間
観察法による合算値(R)	216.5時間	192.5時間
質問紙法／観察法(Q/R)	0.829745958	0.7

23日

閲覧者	一般図書	児童図書	新聞雑誌	レファレン	視聴覚
10:00	1	4	5	0	0
11:00	10	1	12	4	0
12:00	10	3	12	1	0
13:00	10	4	9	0	0
14:00	14	8	12	1	2
15:00	12	10	14	4	2
16:00	9	6	8	1	2
17:00	5	0	11	0	2
18:00	5	0	5	0	0
19:00	1	0	0	0	0

閲覧者	一般図書	児童図書	新聞雑誌	レファレン	視聴覚
10:30	10	2	6	1	0
11:30	11	12	12	2	0
12:30	8	5	9	0	0
13:30	10	10	11	2	1
14:30	10	5	14	5	2
15:30	9	5	9	5	0
16:30	8	4	8	0	1
17:30	4	0	4	0	1
18:30	2	0	5	0	0

77 36 88 11 8

13200 分

72 43 78 15 5

12780 分

時間によって区切ると巡回の回数が変わってしまうために9/10をかけて補正している→

11880

213 時間

198 時間

基準値との

18.5 時間

基準値との

-3.5 時間

2乗

342.25

12.25

平方和

354.5

平方和/場

177.25

さらに平方

13.31353

→ 1時間置きに調査した場合の基準値との誤差

θ値

6.306408

# 先行研究に基づき

	1時間ごと	2時間ごと	3時間ごと
23日			
誤差	13.31353	14.35862	58.30309
$\theta$ 値	6.306408	3.778585	9.205751

	1時間ごと	2時間ごと	3時間ごと
28日			
誤差	22.13018	22.21111	52.91768
$\theta$ 値	10.48272	5.845029	13.92571

$\theta$ 値は調査労力と誤差を同時に表している。値が小さいほど調査労力が少なく誤差も少ない。

先行研究においては $\theta$ 値は1~3程度に収まっていた

2時間が調査の継続においては現実的な範囲だとは考えられる。

# ここまでで分かったこと

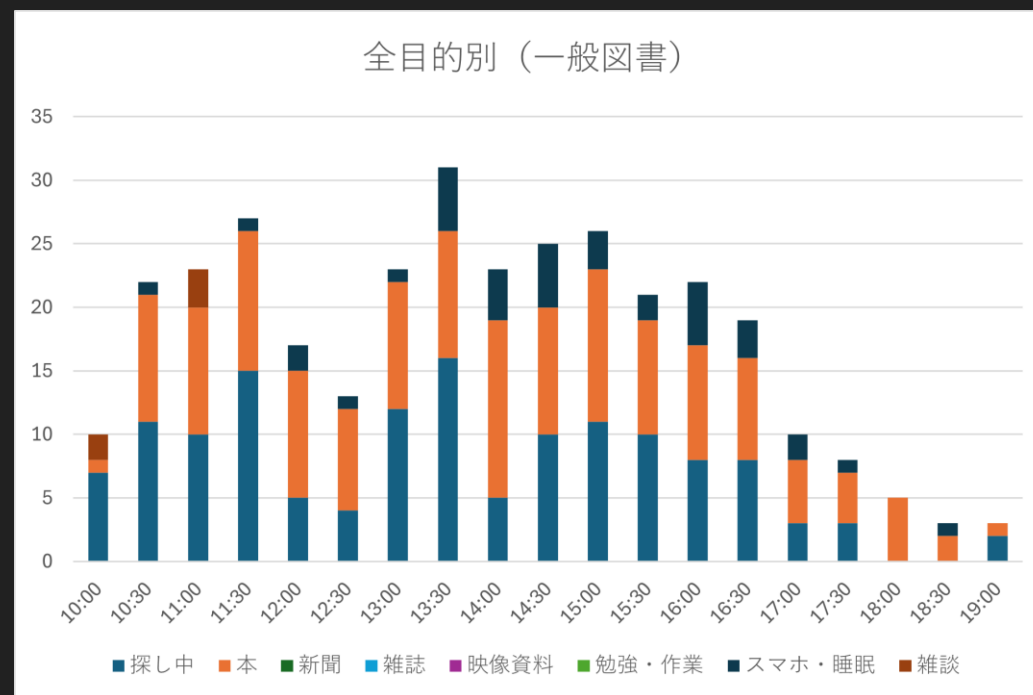
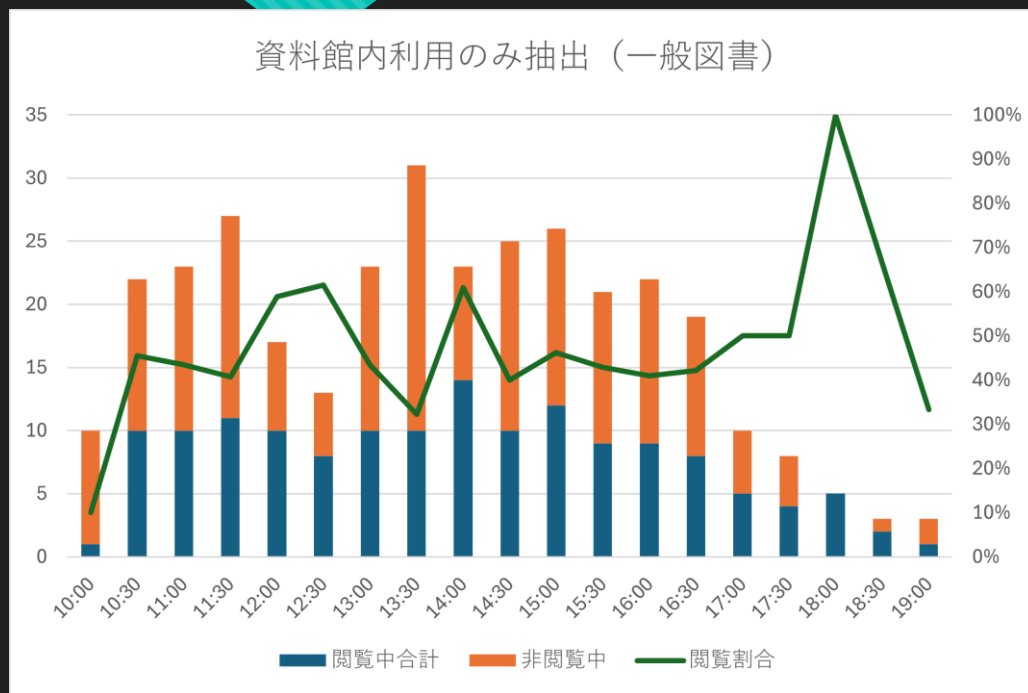
- 館内閲覧は午前中～昼頃が多い。
  - 貸出型のサービスをメインとしているならば少なくはない
- 利用者観察法と質問紙法の差異は少なくなかった。確実に館内利用を調査するなら観察法なのだろうか
- 実際継続的に調査をするなら2時間ごとが現実的な範囲だろう

# 独自に行ったことについて

# 単純集計（閲覧中合計）

	休日	11月23日		平日	11月28日				
閲覧中合計	一日合計(人)	30分ごと平均 (人)	時間 (分)	(人)	30分ごと平均 (人)	時間 (分)	実数差 (休日-平日の絶対値)		
一般図書	149	7.84	4470	144	7.58	4320	5		
児童図書	79	4.16	2370	12	0.63	360	67		
新聞雑誌	166	8.74	4980	199	10.47	5970	33		
レファレンス	26	1.37	780	13	0.68	390	13		
視聴覚	13	0.68	390	17	0.89	510	4		
自習室	0	0.00	0	0	0.00	0	0		
合計（自習室	433		12990	385		11550	48		
		時間換算	216.5			192.5			
		アンケート*(433/80)	165.829787			134.75			
		利用者総数-閲覧中台	387 時間			320 時間			

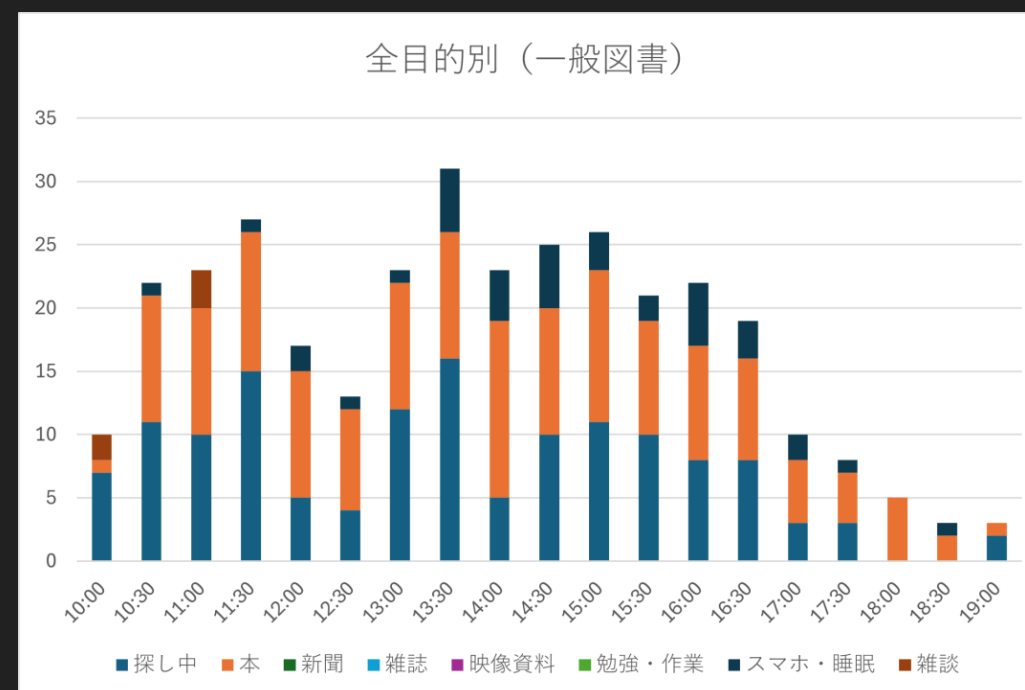
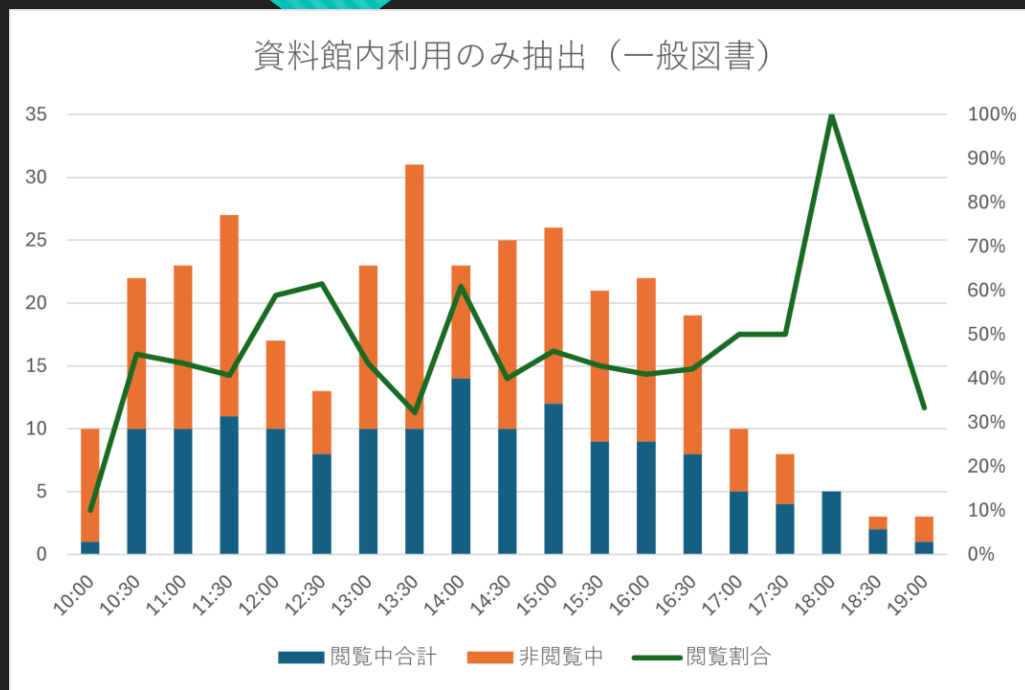
# 簡易分析（説明）



① 先行研究に基づいて、資料を利用している人、していない人、利用している人の割合をグラフ化（資料探索中を利用していない人として表示）

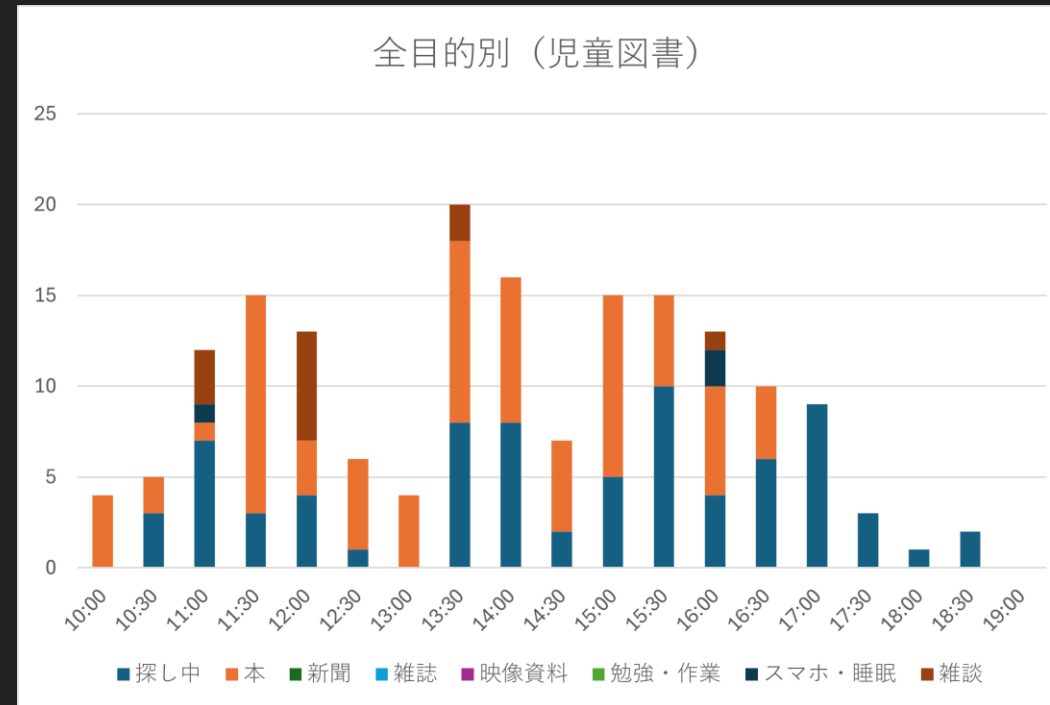
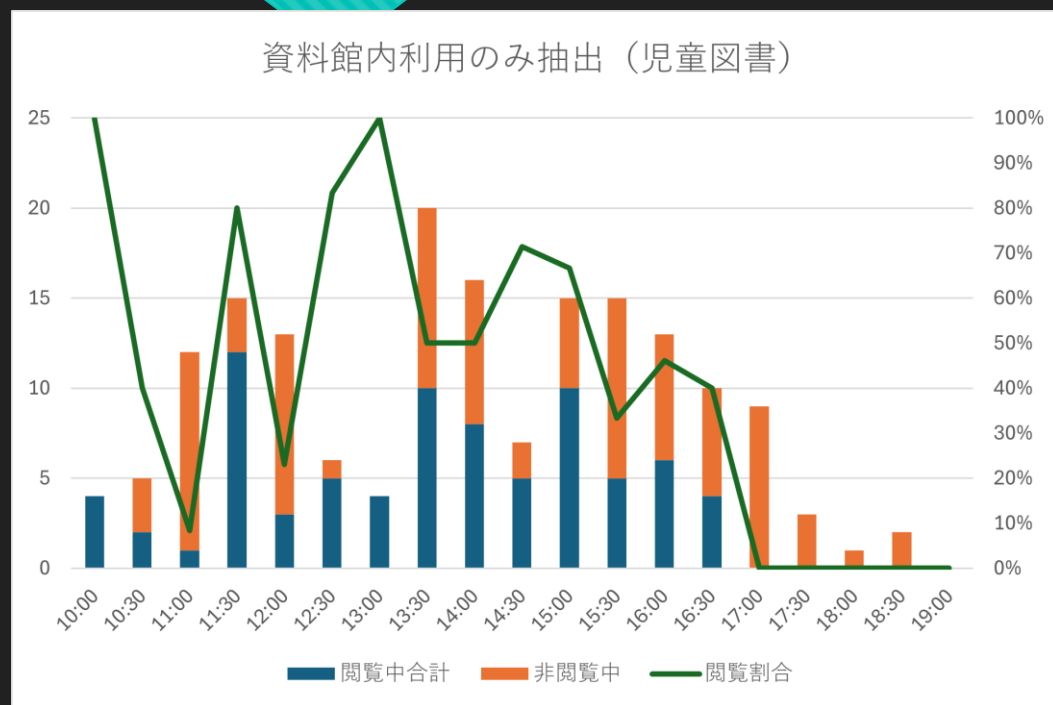
② すべての目的別でグラフを作成

# 簡易分析（一般図書コーナー）



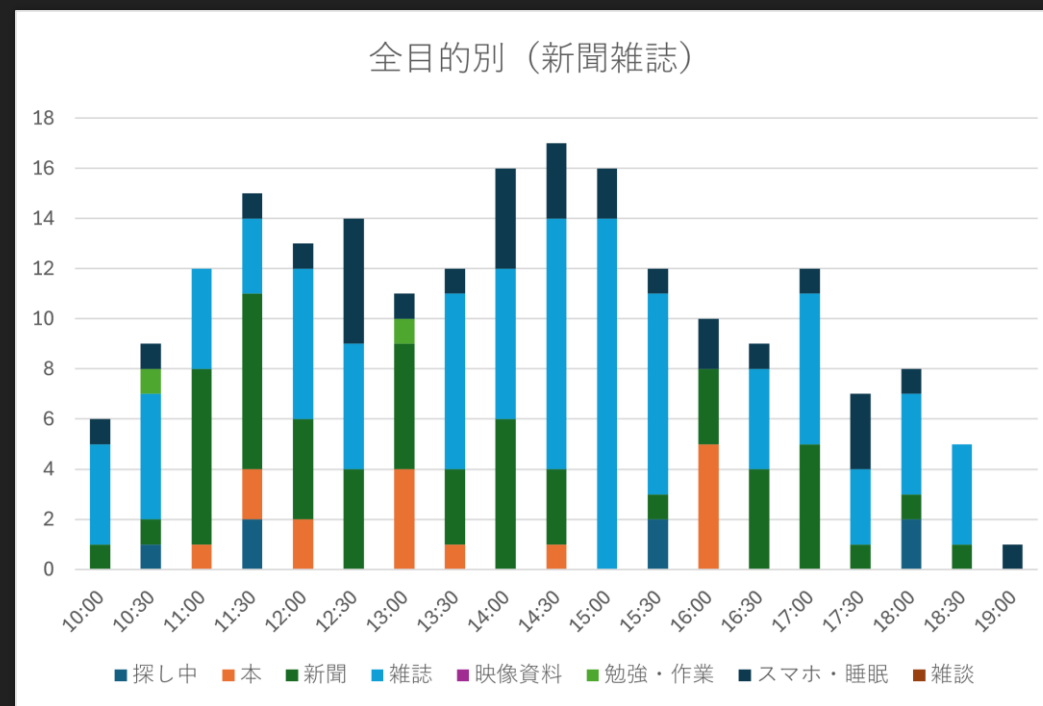
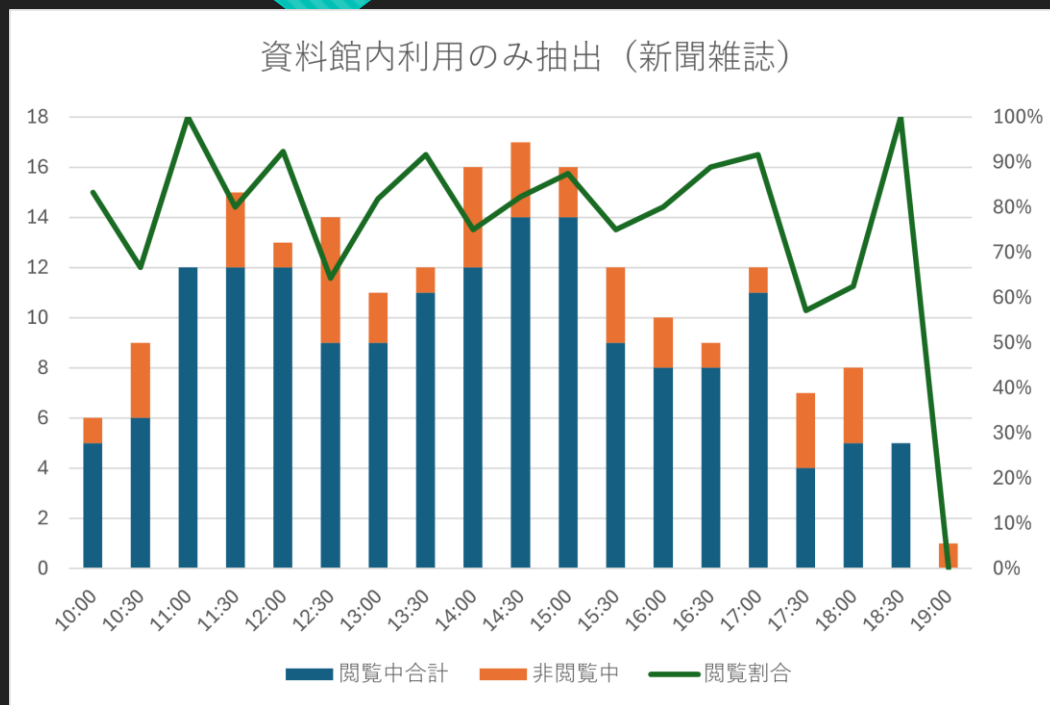
10:30～17:00まで安定した館内での資料利用がある（中央のグラフ）。一方で常に安定した資料利用以外の利用も確認されていた

# 簡易分析（児童図書コーナー）



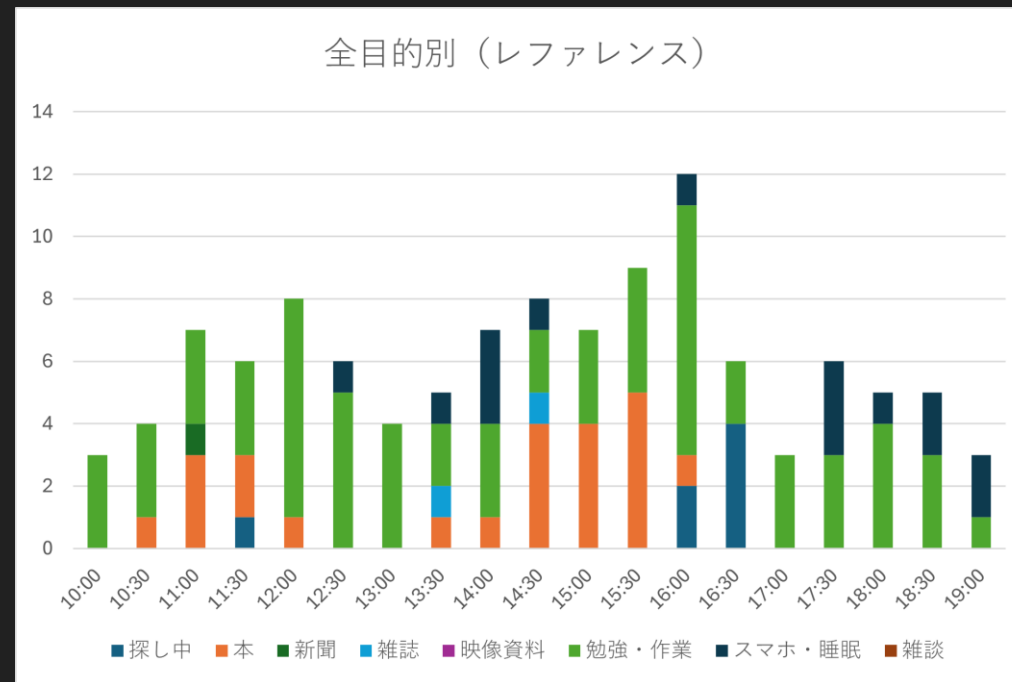
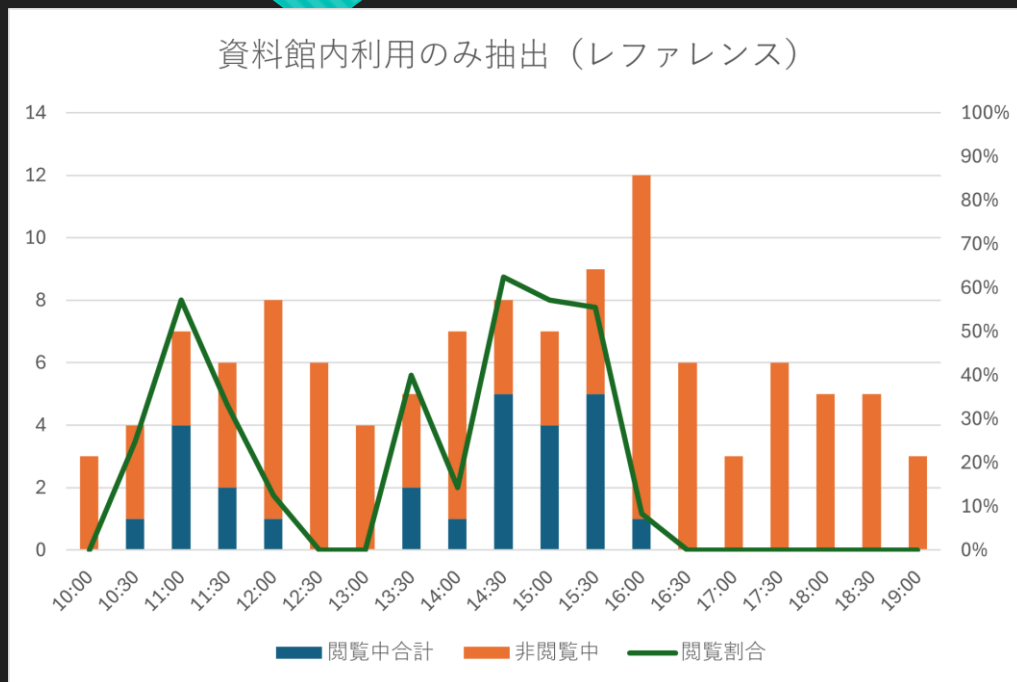
子供と一緒に図書館で本を読む、という利用方法が資料利用の人たちの中には多かった。館内利用の割合は安定しないが、17:00よりも前に館内利用があり、それ以降はない。巡回の時に見た時には17:00以降は大人の方が貸し出すための本を探しているように見えた。

# 簡易分析（新聞雑誌）



貸し出しができない資料形態であるという都合上、館内での資料利用の割合が他の場所と比べてもとても多くなっていることが分かる。

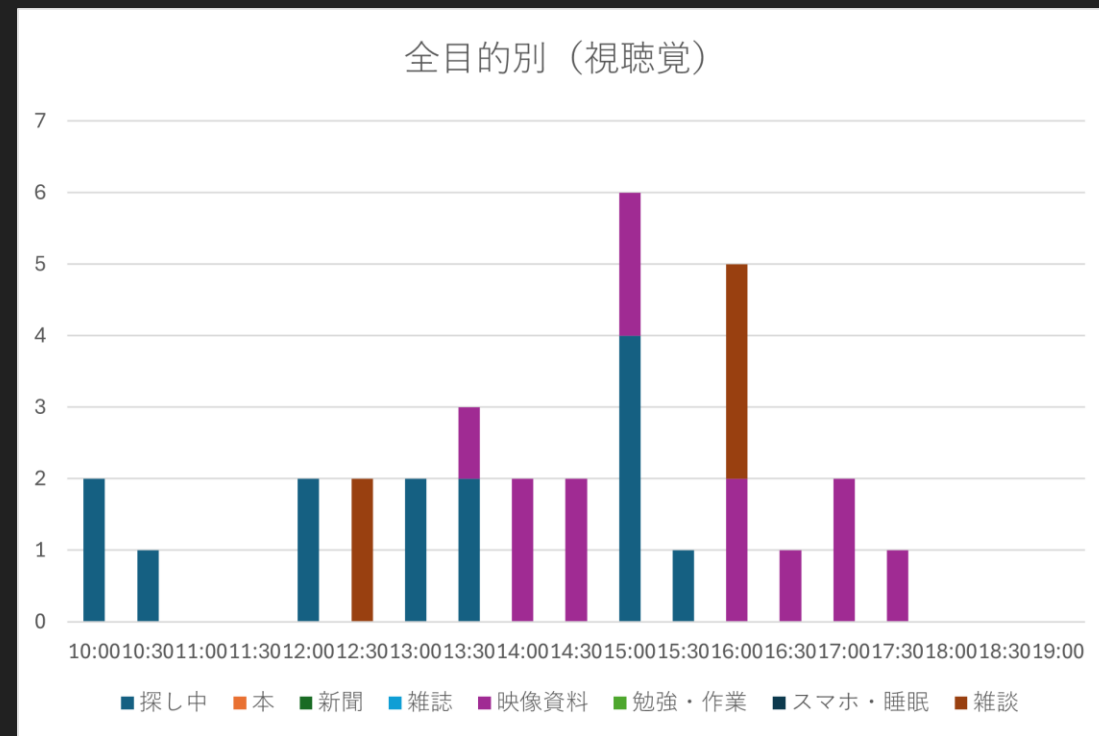
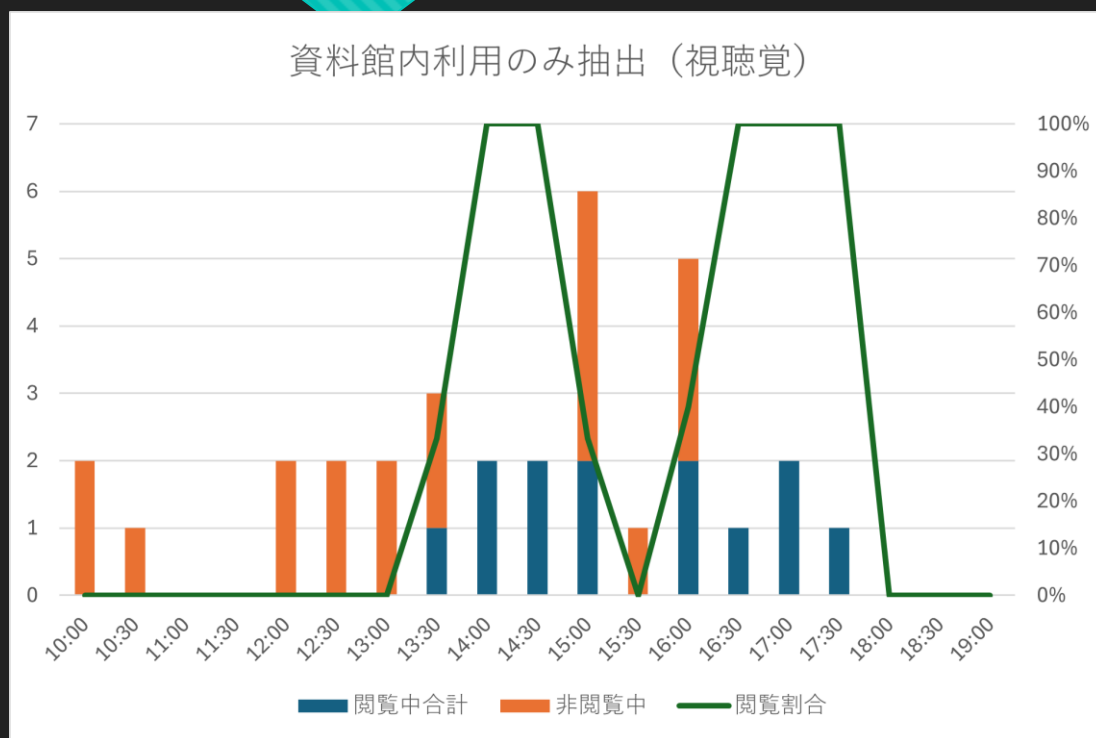
# 簡易分析（レファレンスコーナー）



資料を使って調べものをする部屋。机には「勉強や睡眠などはお控えください」などの文言は書いてあるが、席も空いているということも相まってパソコンだけを広げている人もいた。そのため、「資料を利用しているか」という基準においては値が低く出ている。

この性質上、他の場所と比べて勉強中、作業中がより多く出る。

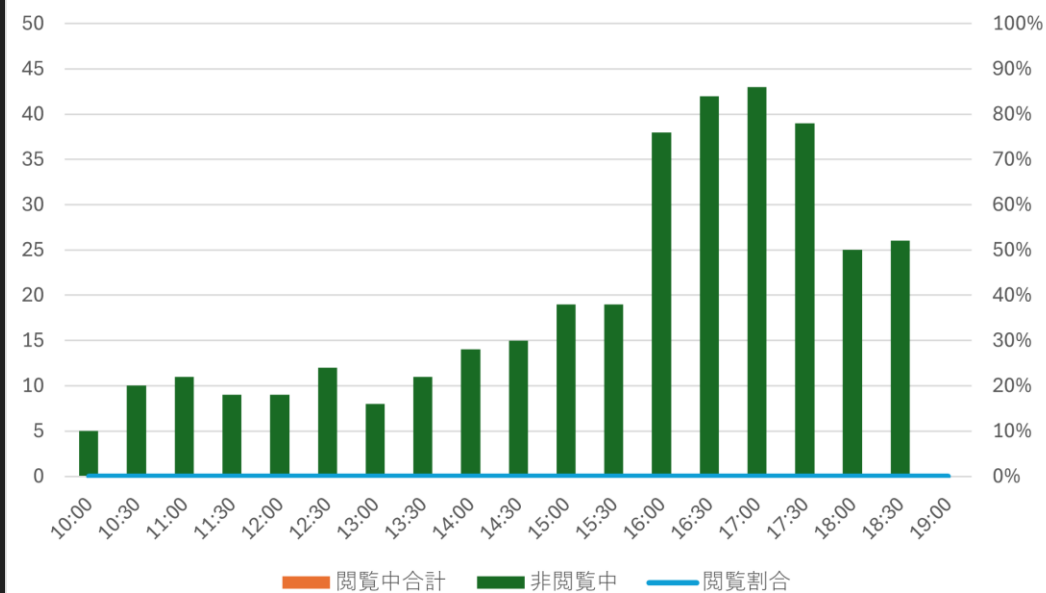
# 簡易分析（視聴覚）



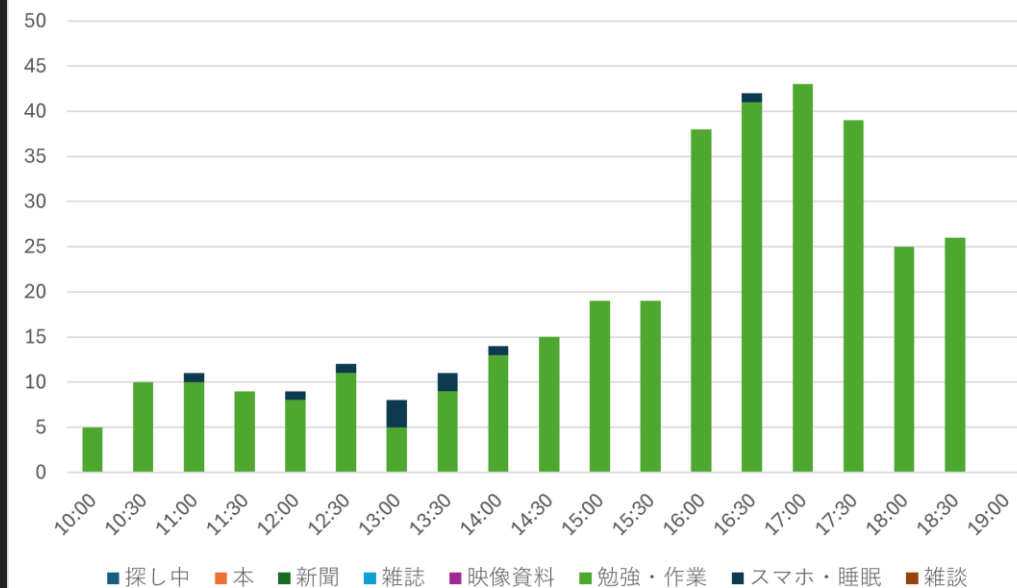
図書館にCDやDVDなどの映像資料があり利用できることも知っていたが、思っていたより利用が多くて驚いた。映画1本見るのに2時間程度かかるということ考えると、少ない人が長時間利用している可能性がある。しかし利用者が多いという訳ではないため、資料の利用割合が100%/0%と極端になっている

# 自習室（28日）

資料館内利用のみ抽出（自習室）

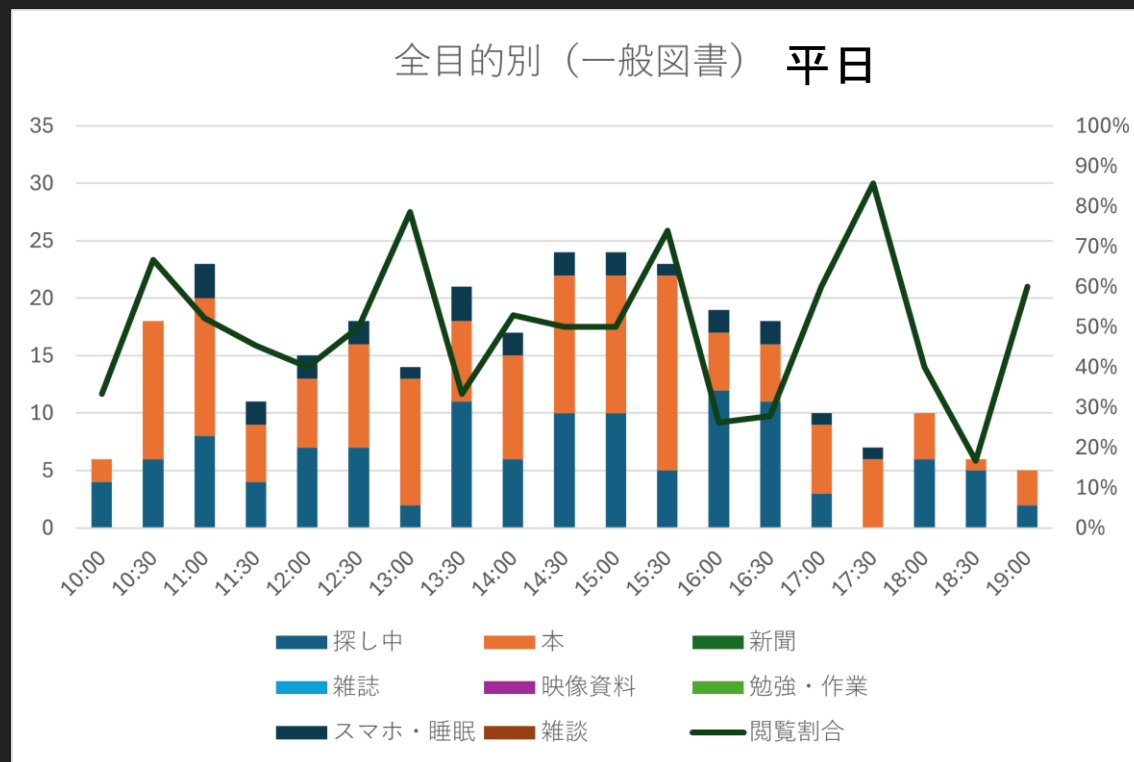
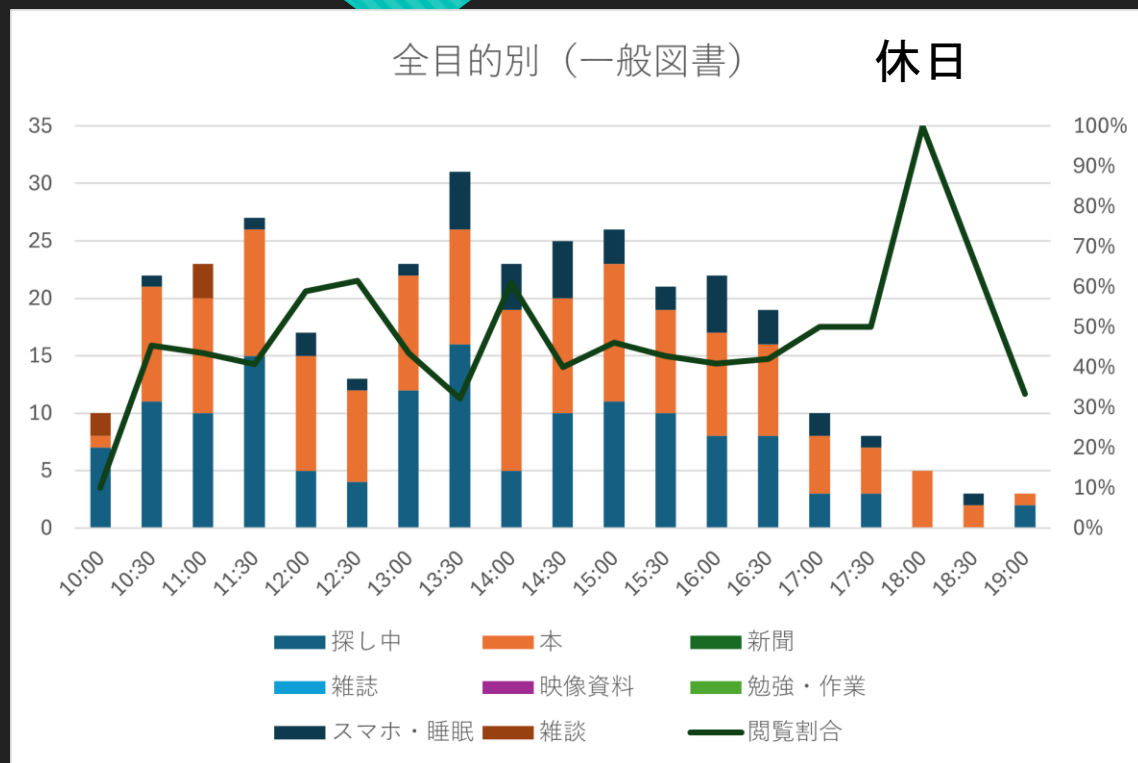


全目的別（自習室）



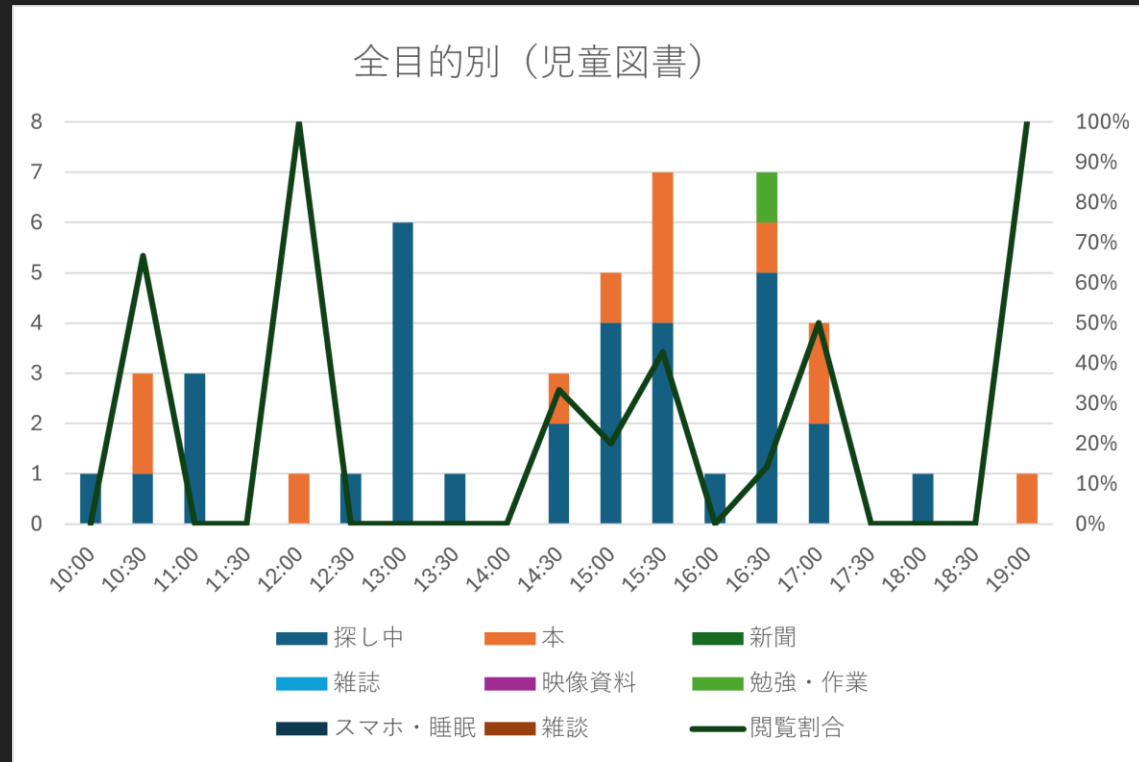
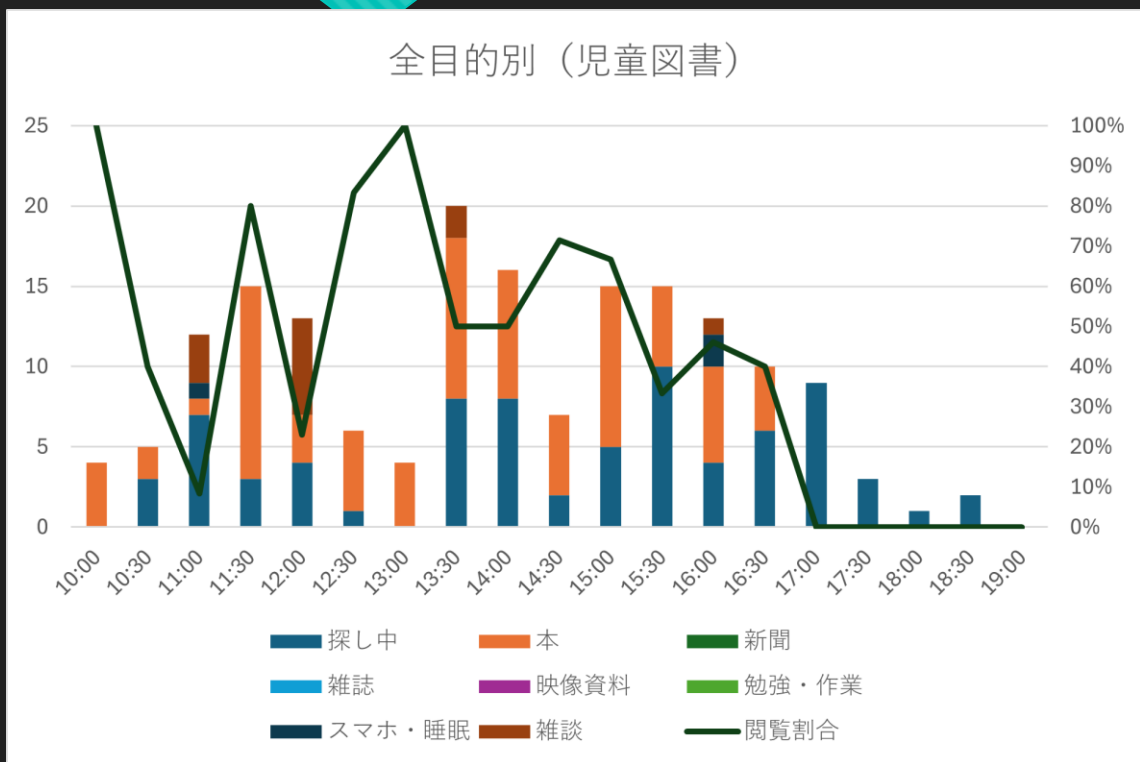
午前中の利用は少なめだが、午後の利用がぐっと増えている。  
夕方、学校終わりの学生が利用しに来ていることが多いのではないだろうか。

# 休日/平日 比較（一般図書コーナー）



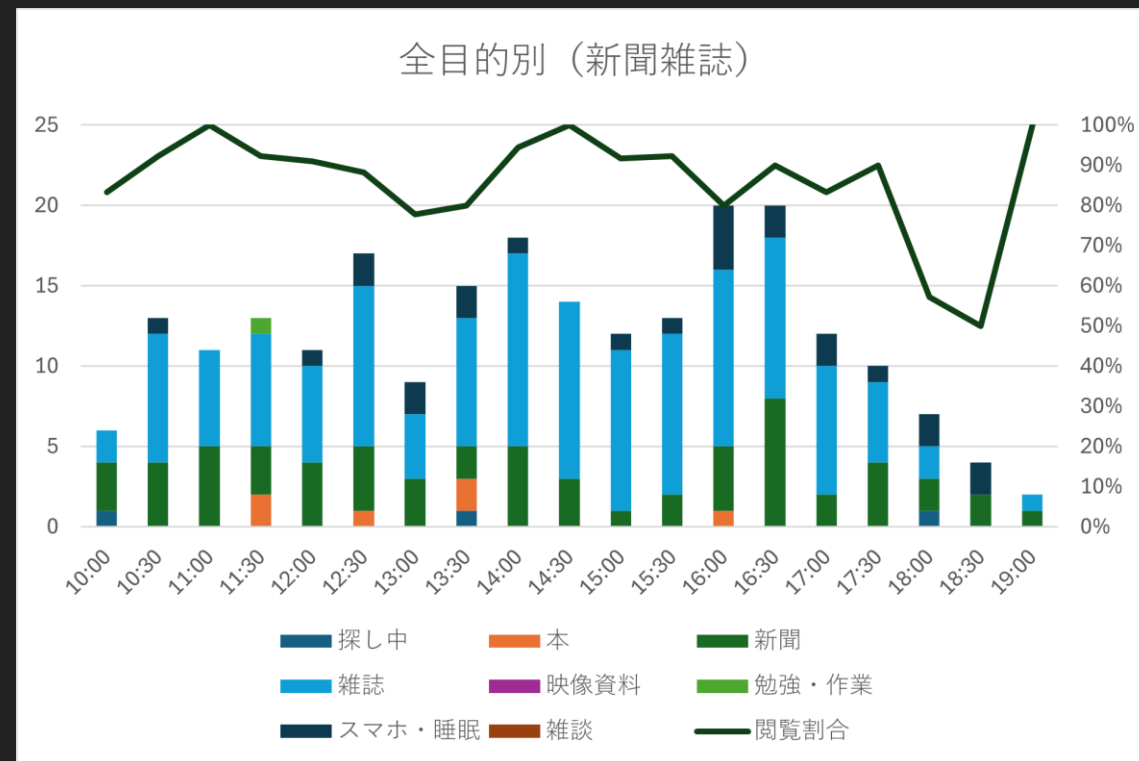
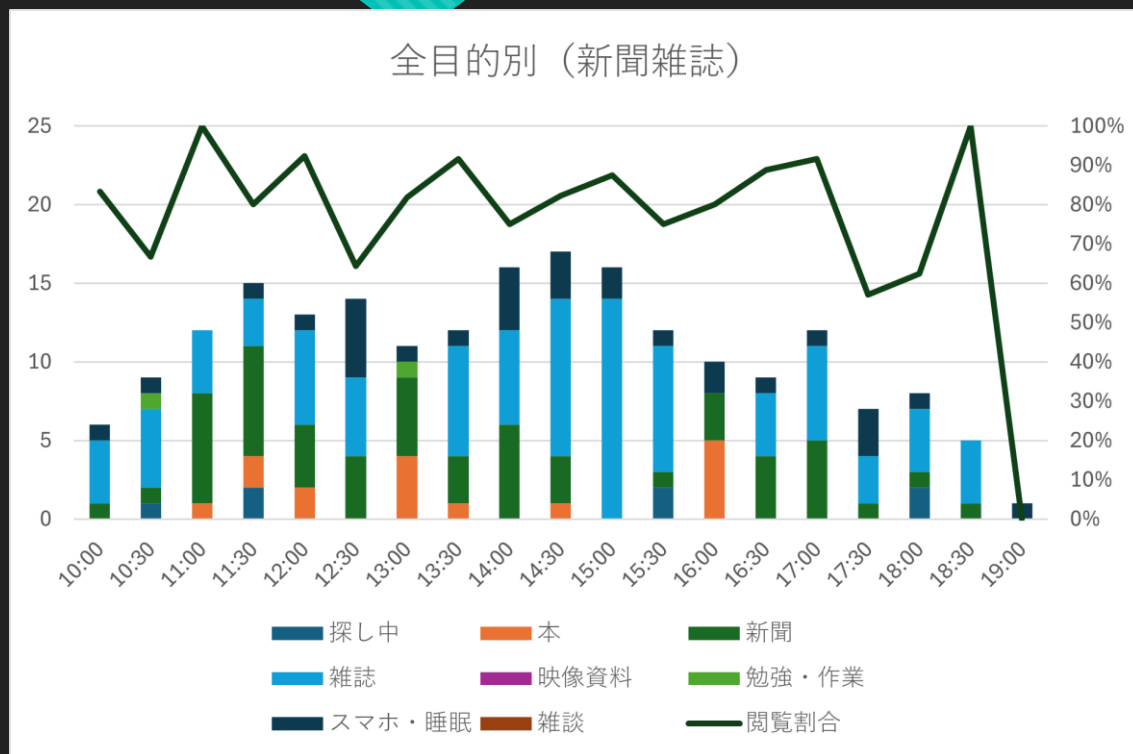
どちらもある程度安定した館内利用がある。どちらも17:30~18:00に館内利用が飛びぬけて増えている。館内利用の実数が変わらない代わりに全体の利用者が減っているからなのだろう

# 休日/平日 比較（児童図書コーナー）



縦軸の数値が左右で違うことには注意してみてください（25に右のグラフを合わせると見えなくなるためそのままにしている）  
 休日の方が児童図書コーナーの利用は多い。

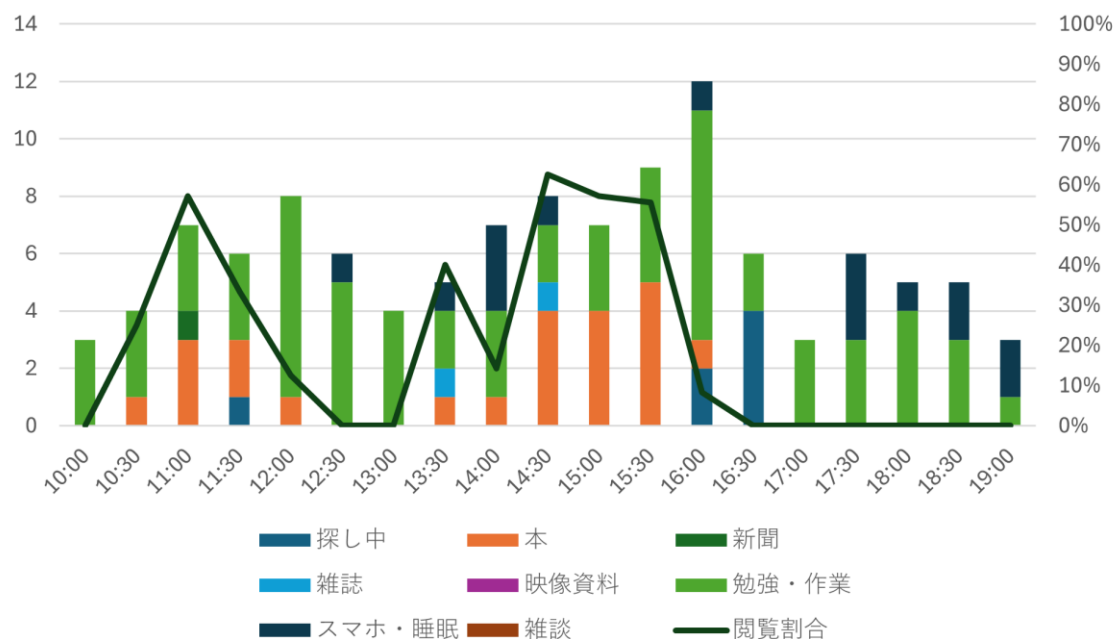
# 休日/平日 比較（新聞雑誌コーナー）



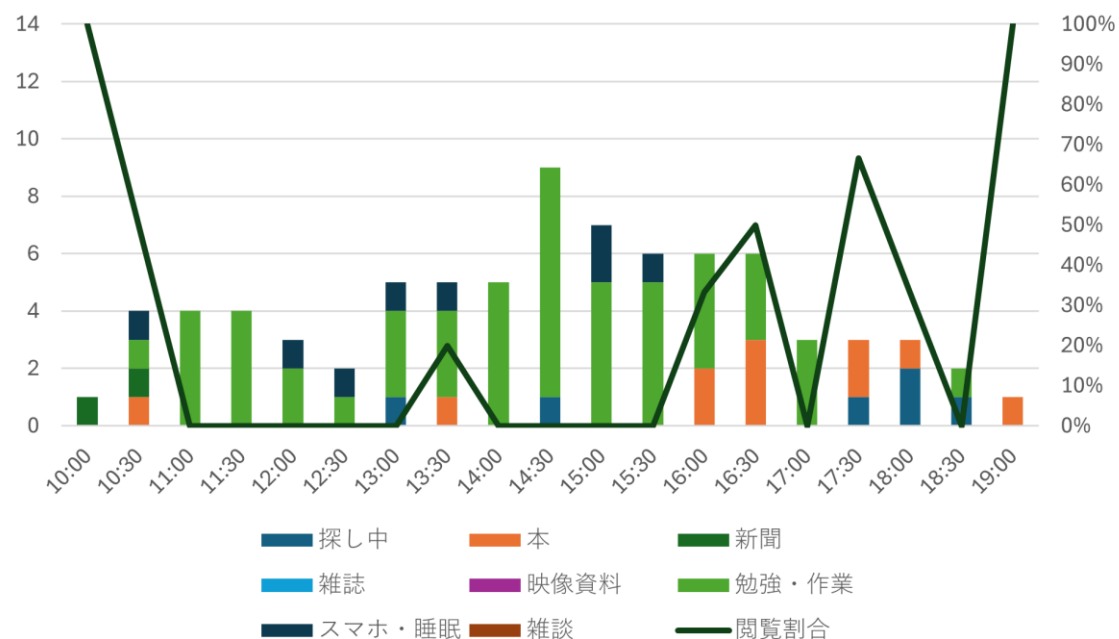
休日平均：10.8 平日平均：15.2 平日の方が利用は多い  
 18時でどちらも利用が減っている、このあたりで帰る人が多いのだろう

# 休日/平日 比較 (レファレンスコーナー)

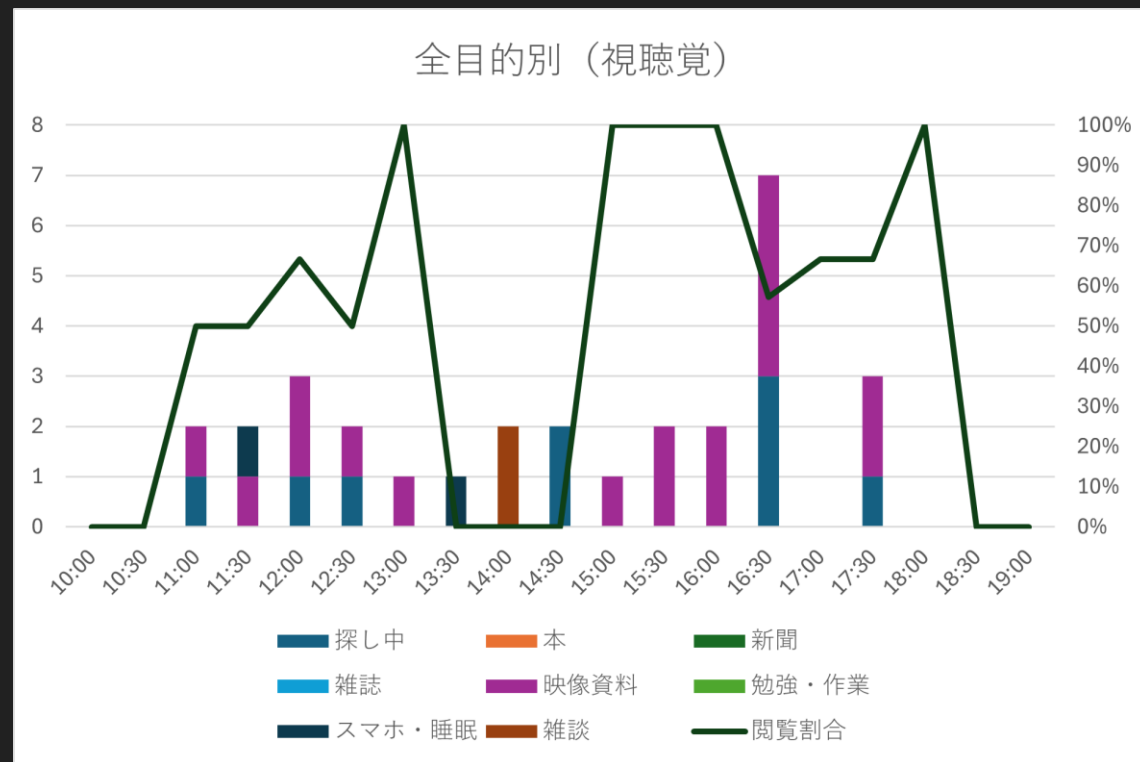
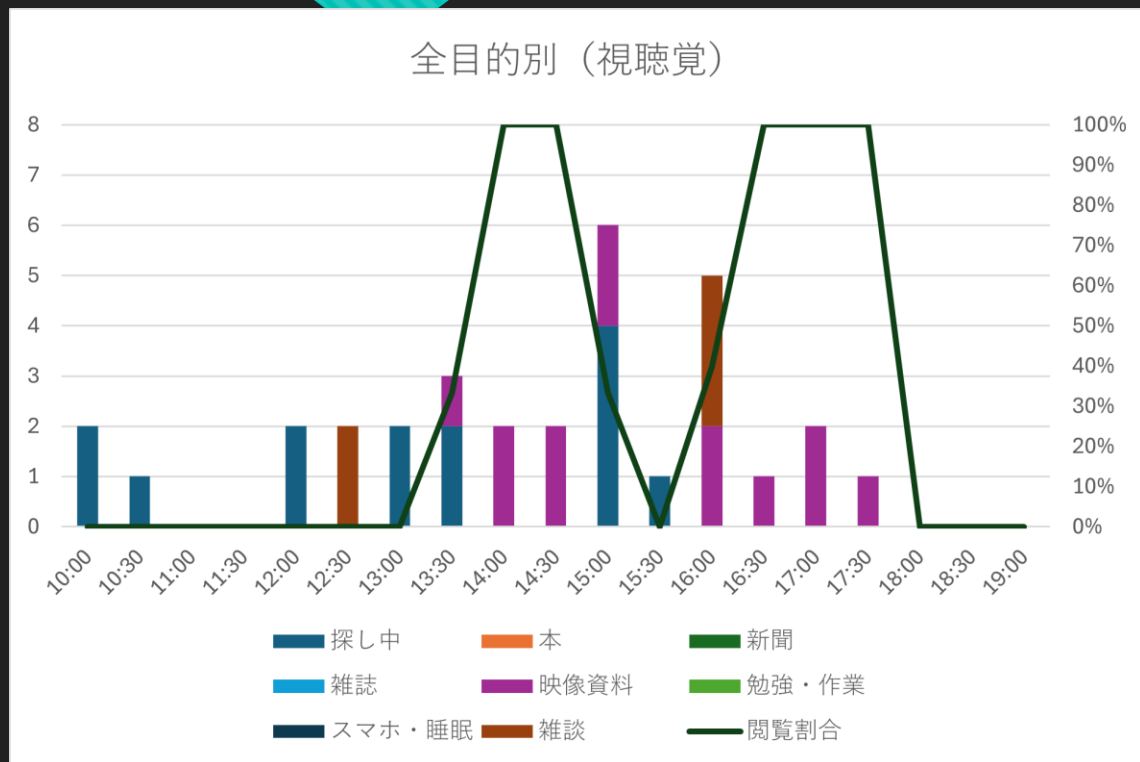
全目的別 (レファレンス)



全目的別 (レファレンス)



# 比較 (視聴覚)



大体安定した利用が休日も平日もある もしかしたら習慣的に利用している人がいる可能性はある。

# 23日アンケート

74	15:35	15:40	4	05
79	15:10	15:15	4	05
87	16:00	16:05	4	05
94	18:40	18:45	4	05
22	11:53	11:56	4	03
25	11:30	11:33	4	03
60	14:50	14:52	4	02
77	15:04	15:06	4	02
85	16:35	16:37	4	02
35	件数			

貸し借りだけで済んでいる人たち（解答が4番かつ30分以内の利用の人たちをこのように仮定している）  
が35/94人ほど

# 23日アンケート

NO.	入館時間	退館時間	回答番号	滞在時間 (分)
1	10:00	16:40	4	400
18	11:30	15:48	4	258
26	11:00	11:34	4	34
37	12:20	12:50	4	30
45	13:27	15:05	4	98
46	13:20	14:55	4	95
62	14:30	14:58	4	28

この人たちは...? 7/94(全体)人  
4番(全く読んでいない)かつ利用時間が30分以上

## 可能性

- こちらの説明不足で視聴覚資料や雑誌利用を”資料の利用”と理解してくれなかった可能性
- 単に図書館を休憩場所として利用している可能性

## まとめ 貸出記録に残らない利用

- 主に新聞雑誌コーナー、レファレンスコーナーに多いと思われる。
- 一般図書、児童図書コーナーの館内利用にも着目していきたいところだ

# 貸出記録に残らない利用 一般図書

## ○ わかったこと

- 休日よりも平日の利用の方が多い。
- 他のコーナーと比べて、スマホや睡眠などで滞在している人が比較的多くみられます。一方で安定した書籍の利用も見られました。
  - 居場所としての図書館という点で言えば、これも悪いこととは言い切れないということには留意したい
- 時間帯によっては混みあっていて椅子が埋まっていることもあったため、混雑時だけは目的外使用は注意する必要があるかもしれない

# 貸出記録に残らない利用 児童図書

## ○ わかったこと

- 子供と一緒に利用するためか、奥の方のスペースを利用している人たちが話していたり、一緒に見て居たり、などが多い。一般図書とは違い、スマホを見ている人はほぼ見かけなかった
- 特に混みあって座るスペースがない という事態は発生していなかった。
- 最上階で行われているお話し会への参加の人たちもいたのだろう
- 昼間は親子連れで来ている人たちが多く、夕方以降は親の方と思われる人が本を探しているところが見られた

# 貸出記録に残らない利用 新聞雑誌

- わかったこと
  - 休日よりも平日の利用の方が多い
  - スマホや睡眠などでの滞在も一般図書コーナーと比べて多く出ています。混んでいた時間帯でも空席はいくつかあり、席が足りないようには見えなかった
- 新聞や雑誌の需要はある、ということがここで示している。

# 成果

貸出記録が残る貸出以外の利用、とくに新聞雑誌や、館内閲覧の利用をデータとして残る形にする

- 貸出データに残らない館内利用や、滞在の可視化ができた。
  - 休日/平日・時間帯・エリアごとなど
- 今後似たような調査をする時の基準値としても使えるのでは
- 貸出以外でも図書館の需要はあるということが改めて発見できたと同時に、それを示す方法となるかもしれない

# これからの展望

- 館内利用が多かった新聞雑誌コーナーにおいて、どの新聞雑誌がより多く利用されているかなどの情報があったら良いのでは？
  - ただ個人を特定できない形で新聞雑誌の種類だけを取る方法が難しそう。利用者が本を持ち出すごとに一回押すカウンターのようなものを置く？
- 図書館で利用を調査したくなくなった時にもっと簡易的にできる方法は無い  
か？ 方法論やアンケートについても改善できるところがあるかもしれない